

見えた「令和、イノシシ」



伊豆市の月ヶ瀬学区地域づくり協議会（植田延司会長）が初めて挑戦している「田んぼアート」は、イノシシの顔と「令和」の文字がはつきりと分かるようになった。28日午後3時から、観賞会を開く。同協議会は「1年目にしては良くなってきた。気軽に見に来てほしい」と呼び掛けている。

田んぼアート「良くてきた」

月ヶ瀬学区
地域づくり協

同協議会は休耕田の活用策として、色の違う稲を使って水田に絵や文字を浮かび上がらせる田んぼアートに着目。県内先進地の菊川市を視察するなど準備を進めた。5月12日には、地元の子どもたちも参加させて田植え作業を行った。

場所は矢熊橋近くの休耕田。緑色や紫、茶色などの稲を使い、絵と文字をデザインした。イノシシは今年のエトに加え、天城湯ヶ

島地区の象徴的存在でもあることから選んだ。